

「ふ・ふ・ふ」で魅力を紹介！

「ふかや ふるさと ふれあいマップ」を作成

2月22日、深谷小学校の6年生11人と教職員が深谷地区の魅力を発信しようと共同で作成した「ふかや ふるさと ふれあいマップ」を南区自治会の片平和弘会長宅を訪問し、贈呈しました。

このマップは、昨年の7月から作成を始め、深谷地区にある神社や文化財、企業など計17カ所が紹介されています。自分が住んでいる地域に目を向けてみることで、ふるさとの魅力を改めて感じてほしいという思いと、頭文字の「ふ・ふ・ふ」と地域の方に笑顔になってもらえるようにとの願いが込めてあります。今回は各自治会長を通じて深谷地区の全488世帯に配布しました。

児童は「紹介文の中の絵やコメントを工夫して作成しました。このマップを通して深谷地区の魅力をたくさんの方に知ってもらいたいです」と話してくれました。



1



2

1_作成したマップを片平会長に手渡す児童 2_完成したマップ。イラストは、自然豊かなふるさとの四季をイメージしています

不安解消への一歩

小児用新型コロナウイルスワクチン接種開始

3月4日から市内小児科で接種を希望する5～11歳の小児に対する新型コロナウイルスワクチン接種がスタートしました。現在、接種は市内小児科3カ所で実施。この日は事前に予約をした10人が医師からの問診を受けた後、ワクチンを接種していました。小児用ワクチン接種も大人の初回接種（1、2回目）同様に3週間の間隔をあけて2回接種が必要です。

なお、蔵王町・七ヶ宿町に住む児童への接種についても本市で実施していきます。



▲医療機関でワクチン接種を受ける児童

世界に一つだけのイス

木のイスをつくろう！

3月13日、こじゅうろうキッズランドで大工さんと一緒にイスを製作するイベント「木のイスをつくろう！」が開催され市内外から小学生15人が参加しました。

イス作りは大工さんが切り出した好みの形の木材を子どもたちが選び電動ドリルや金づちを使って組み立てに挑戦。子どもたちは、大工さんに手伝ってもらいながらイスを組み立てました。材料の木材は住宅建築で出た端材を使いSDGsにも配慮したイスができました。



▲堅い材木に苦勞しながらくぎを打ち込む参加者

後世に伝える功績

故佐藤孝夫さん「顕彰プレート除幕式」

3月14日、国鉄（現ヤクルト）スワローズで活躍した本市出身の故佐藤孝夫さんの功績をたたえる「顕彰プレート除幕式」を行いました。これは、母校の白石高等学校野球部OB会「益岡倶楽部」が佐藤さんの存在やこれまでの活躍を後世に伝えようとプレートを作製したものです。プレートは益岡公園野球場管理棟前に設置しています。益岡倶楽部の熊谷勝彦代表は「白石出身で活躍した選手を多くの皆さんに知ってもらいたい」と話してくれました。



▲設置したプレートを前に記念撮影する山田市長と益岡倶楽部の皆さん

はじめまして、斎川と申します

奥州白石斎川宿マップ

斎川まちづくり協議会が、斎川地区の名所を記載した奥州白石斎川宿マップを作成しました。地図作りには地区内外から18人が参加。昨年9月から斎川地区内の名所を巡り、地元の人たちからその経緯や由来などを尋ねて原稿を作成しました。地図に使われているイラストやコメントは全て参加者たちで考えて作成した手作りの地図です。

同協議会事務長の佐藤幸枝さんは「地区内を回って改めて地域の魅力を再発見することができました。この地図を使ってより多くの人に斎川の魅力を伝えていきたいです」と話してくれました。斎川地区では、今後このマップを使ったまち歩きイベントなどの開催を計画していく予定です。

奥州白石斎川宿マップは斎川公民館で配布しています。詳しくは同まちづくり協議会（☎25-2701）にお問い合わせください。



1



2

1_マップ作成に携わった参加者の皆さん 2_昨年9月に開催したまち歩きでは、参加者が各所を回りマップ作りの素材を集めました